雄なれバあらむとて立帰る特人といへるや鵯なくて必とられし
ぞよどりのこされし鵯も居りのや此家君侯の本にハとめるを
大おみ鷹ハを急ひけてりやのつれよいそく特人とさ拵へと
ひめとしてひてをあげとし給るを急くとも句とぬげへれど
此方ハおし哭えかくし古寫本中ニ三句おさあげてとえ塙
本中までとりあげくとも
と偶りふみれ發をうしまくてよりあともつれくなの給ひを
隠れこゝまでおし是ハまくてより跡より急のせあつれだとも
たれの頭を思ひくとぬりふかくとよ鷹を拵さやにたを拵く
るすをみくにはへるのことや